

教科名	英 語
-----	-----

現状分析（生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表）

学習状況の実態	内容別・観点別結果の分析
<p>< 聞くこと ></p> <p>ALT のネイティブ な発音、教科書の模範の CD 教材、リスニング用の CD 教材、Q&A や TorF 等によるリスニング。スピーチ等の発表におけるリスニングも行っている。聞き取ったの応答や CD 教材におけるテストへの取り組み姿勢はとてもよくできている。</p> <p>< 話すこと ></p> <p>ある一定の文型を使っての話すことを中心に学習を行っている。反復練習の後、ペア・グループ・クラスと話す相手を段階的に広げていく工夫をしている。自信をもって、積極的に話しかけていく姿勢がもてている。</p> <p>< 読むこと ></p> <p>モデルを示した後に、リポートや反復練習をしている。徐々にスピードを上げて読むことと、リズム、抑揚にも気をつけて読むことを心がけている。複数回読むことを重ねることにより、自然に全体の内容理解へと発展していけるよう取り組んでいる。</p> <p>< 書くこと ></p> <p>ノートへの書写、板書の書写、文法的な文の書き替え、単語の書き取り、スキット作り、スピーチ原稿作り等を行っている。</p> <p>以上の 4 観点についてバランス良く行っているが、< 聞くこと > < 話すこと > に関しては興味を示す生徒が多い。< 読むこと > では内容理解に不十分な生徒がいる。< 書くこと > は文法的な知識とも絡んでいるため、正確性に欠ける生徒がいる。</p>	<p>< 聞くこと ></p> <p>Q&A、TorF、リスニング用の CD 教材への正答率や応答の正確さは比較的良好にできている。学力調査でも正答率は高かった。ただし、まとまった英文を聞いた後の応答では不十分な生徒がいる。</p> <p>< 話すこと ></p> <p>話すことへの興味があり、積極的にコミュニケーション活動に取り組む生徒は多い。相づちを打ったり、感想を述べたり、突然の質問に対してはうまく対応しきれず言葉に詰まる生徒もいる。スピーキングテストでも Q&A はできるが、自己表現を促されると言葉が出ない生徒がいる。</p> <p>< 読むこと ></p> <p>読む回数が増えれば、流暢になり、リズムや抑揚も上達していく。読解力の面では単語の知識力の有無が内容の理解度に反映している。</p> <p>学力調査の結果から、まとまった英文を読み解く力が全体的に劣っている傾向が見られた。大まかに全体を捉えるとともに細かく理解ができるよう練習をしていく。</p> <p>< 書くこと ></p> <p>テーマを設定し、3~4 文の自己表現を英文で書くことはできる。しかし、細かい文法的な知識に欠ける面が学力調査や定期考査の結果から読み取れた。そのため正確性に欠けてしまうことが見られる。文の書き替えの知識でも文法的な誤りが見られる。</p>